


IT業界で就職・独立なら デジハリ



資料請求は  から。
フリーダイヤル
学校案内無料発送中!!

お問い合わせは

デジハリウッド

The School for Your Future - KYOTO

 0120-634-810

京都校 <http://kyoto.dhw.co.jp/>

〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場北西角 スターバックス上6F



デジハリボイス! 卒業生の仕事の現場。

ほめられたら、やっぱりうれしい。

デジハリの総合ProコースWebデザイナー卒業生の樋口悦子さん。在校生の時には、OJT制作の京都町家街道の制作監督も経験。卒業後、デジタルハリウッドとオムロンの共同で設立した(株)e-kotoディレクターとして活躍中。ディレクターとはクライアントからの要求を取り入れた企画を立案し、その企画が受け入れられたら制作スタッフに仕事を割り当て、進行管理を行うのが仕事。仕事の指示は主にメールで行っている。ですが、同じ指示をだしても人によって受け取り方が違ったりして、イメージの違うデザインが上がってくることも。しかし、出来上がったものをクライアントがよかったと言ってくるとやっぱりうれしい。



デジタルハリウッドと
同ビル5Fにある
(株)e-koto。
樋口さんの制作現場から。

前職:ディスプレイ装飾
●総合Proコース
Webデザイナー卒業後
●現在:(株)e-koto
アシスタントディレクター



嶋原太夫 司

T s u k a s a

KYOTIAN I.D.

キョーティアンアイディ

【プロフィール】

中学卒業後、祇園甲部にて舞妓となる。6年間務めた後に、嶋原にて太夫の道へと進む。太夫としてお座敷を務めるだけでなく、フリーペーパーの発行やイベント企画など、嶋原や太夫を広く知らしめる活動もこなす

【太夫とは…】

公の遊郭にて、芸事に長け、高い教養を持つ遊女に与えられる最高位の位のこと。別称は「こったい」。舞妓や芸妓と同じく、座敷にて芸事を披露したり、お座敷の相手をしたりする、いわば職業のひとつ。京都の6花街のうち太夫が存在するのは嶋原だけ

「一期一会」が導いた 二つの顔ゆえの文化継承



位の高い太夫ゆえ、太夫の身の回りの世話をする「引舟(ひきぶね)」と、太夫を手伝う「亮(かむろ)」が常に側につく



21世紀を迎えた昨年創刊した、町新聞「こったい」。嶋原の文化を伝え、広めたいという思いは、大きくはない紙面に凝縮される



嶋原に唯一現存する置屋(太夫などを派遣するプロダクション)であり揚屋(太夫を呼ぶことができるお座敷を持つ場、輪違屋にて

舞妓と太夫。祇園と嶋原。表舞台と裏舞台。司太夫は、これら相反する二つの立場をこなして来た。異なる二つのものに身を置くことで、見えてくる物の本質。嶋原という花街(かがい)の太夫という文化、これを世に伝え後に残していくのに、これほど適した人はいない。

幼少の頃から芸事が好きだった。6歳で琴を習い始めたのを皮切りに、踊り・茶道・華道・民謡・詩吟と年を追うごとにその数は増えた。普通家庭に育った彼女ゆえ、強制されたわけではなかったが、「なんや知らんけど好きやった」のが高じて、舞妓という職を選ぶ。もちろん、芸への潤及はやむことなく、笛や常磐津までも身につけた。そもそも舞妓の始まりは町娘ゆえ、芸事などは徐々に習っていくもの。一方の太夫の始まりは公家や武家の娘であったことから、芸事に加えて知識・教養も最初から身に付いているものとされてきた。舞妓としては充分すぎるほどの芸事を学んでいた彼女に「太夫にならないか」という誘いがあったのも頷ける話。芸妓になるか、太夫になるか——。決心するにはそう時間はかからなかった。「誘っていただいたのも、「一期一会」のタイミングやし」と、祇園から嶋原へ、そして舞妓から太夫へと。

時は過ぎ、二軒あった置屋は一軒になり、嶋原太夫は4人のみとなった。京の風物詩でもあった、迎春の餅つきも途絶えた。粋な遊びをする人は減り、太夫の存在を知る人すら減りつつある事実。嶋原との、太夫との接する機会を持ち、文化としての継承を…と新世紀を迎えた昨年、太夫と嶋原の情報を盛り込んだフリーペーパー「こったい」を創刊する。「伝えたいことは山ほどおす」と原稿から構成まですべて一人でこなし、隔月で発行。そして念願だった迎春の行事「嶋原の餅つき」も、自らの主催で12年振りの開催にこぎ着けた。「企画から、スポンサー探し、当日の段取りなどすべて裏方に徹して」こそ、復活を遂げたこの行事。「太夫である私が、太夫ではなくスタッフとして企画・実行する。表と裏の双方がわかるからこそできること」があるんだと実感し、自分がやらなければ…という思いを強く持ったという。

「太夫としての魅力は、お座敷で道中で、いろんな人に出会い「一期一会」の日々を過ごせること」。一方で「その太夫を後世に伝えるために、出来る限りのことをやり遂げること」の魅力にも気付いた彼女。嶋原を、京の町にとって大きな存在とするための足取りは、遅いほど力強い。

Information 司事務所
<http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21>
fax:075-812-8260